

【『現代レイキ法』と共に歩む（ジェニファー・ドリングさんに聞く）】

ジェニファー・ドリングさんの『現代レイキ法』と共に歩む人生と、2007年9月にシドニーで開催された土居裕先生のセミナーについてジム・フレウがお話を伺いました。

ジム： 現在、レイキ・マスターとして『現代レイキ法』を実践されていますが、このレイキ法を始めたのは2004年からですね。今までのレイキの経歴と、『現代レイキ法』に移った経緯についてお話し頂けますか。

ジェニファー： 現代レイキを始めるまでは、ワンジャ・トウアン*、イルマ・ギュスターブセン、ジョアン・スティーブソンそして私自身という系統のレイキに満足していました。マスターとして長い間その系統のレイキを実践し、教えていました。土居先生の著書『癒しの現代レイキ法』（元就出版社刊）を購入するまで、何か他のものを探そうという気持ちもありませんでしたが、この本を何度も読み返し、特別なエネルギーがこの本から放射されているように感じたのです。この先生に（土居先生に）会わなければいけないと思いました。

レイキの実践法に関しては変更する気持ちも特にありませんでしたが、2004年5月に東京での土居先生のマスター・ワークショップに参加するために日本に行きました。この経験が、私を完全に参らせてしまったのです！でも、このすばらしい体験を今後どのように活かしていくのか、その時点でもはっきりしていませんでした。ただ何より、本当に深く私を魅了してしまったものは、精神面に重点を置いていることでした。西洋式レイキでは、同じ度合いでは決して強調されなかったことです。西洋ではレイキを、ヒーリングの実践としてのみ教えていることが多いのですが、私は自分の経験から、もっと深い精神的な面が関係していると感じていたので、とても共感しました。

何より、本当に深く私を魅了してしまったものは 精神面に重点を置いていることでした。

ジム： 東京のワークショップでは、たくさんの日本人マスターの中で、西洋人マスターはジェニファーさん1人だけだったそうですね。その時の体験についてお話しいただけますか？

ジェニファー： 通訳の方にお手伝い頂きましたが、言葉の壁はありましたので、他の参加者の方たちとの交流はあまりできませんでした。でも、この日本での経験で、臼井式レイキについて理解を深めることができました。今まで聞いたことのない話もたくさんありました。臼井先生が創設された『臼井霊気療法学会』の会員でもある土居先生は、日本の伝統霊気と西洋式のレイキを結合させることをご提案されているのではないかと感じました。そして、レイキが文化を超えて誰にでも学べるようになることを願っておられるのです。また、精神面に対する教えは、非常に意義深い大切なものと感じました。レベル1, 2では、ヒーリングの実践が中心ですが、レベル3, 4では、悟りについても学びます。悟りは、レイキにおける究極の目的です。レベル3では精神面の実践、成長について、レベル4では、レイキを教える技術から始まり、悟りに関することまで広く学びます。土居先生は、「レイキは、まるで富士山を登るようなものです。」と、お話されます。レイキのレベル2修了では、まだ半分しか登っていないのです！頂上まで到達するには、レベル3, 4へ進んで行く必要があります。



土居先生とジェニファー・ドリングさん

ジム： 手の置き方については、土居先生から特に説明はありましたか？

ジェニファー： はい、ありました。臼井先生の時代には、特に決められた手の配置、順序はなく、ドクター林のレイキ・クリニックから始まり、その後、現在のように取り入れられるようになったようです。決められた手順どおりにセッションをすることを好む人たちが多かったようです。土居先生がこの手の配置を教えられるのは、手順があることで生徒が安心するからだそうです。しかし、やがて、体の中のエネルギー・バランスの不調を感じることができるようになり、手をどこに置けばいいのかわかるようになるのです。

ジム： 土居先生は、セミナーのために海外に出られたのは今まで数回だけで、最近行われたシドニーでのセミナーは、初めてのオーストラリア訪問でした。このセミナーでの体験をお話いただけますか？

ジェニファー： セミナーは3日間に渡って行われました。運営は、現代レイキ・オーストラリアのカレン・ウォークマンと代表委員の皆さんで、とてもすばらしかったです。初日の一般セミナーには、約45人が参加し、午後に全員が『霊授』を受けました。『霊授』は臼井先生によって考案され、初期の頃に行われていたアチューメントで、人々をレイキ・エネルギーに導いてくれます。土居先生は、この『霊授』の手順を、現代レイキのマスターに教えています。その後、質疑応答の時間がありました。

ジム： その後のセミナーは、どのような内容でしたか？

ジェニファー： 参加者全員がレイキのエネルギーに導かれた後、現代レイキについてさらに深く説明されました。これは私にとって、東京で受けたワークショップの良い復習になりました。本当に役立ちました！土居先生は、すべてのセミナーで『五戒』**の重要性とその教えを常日頃どのように心に留めるか、そしてこの『五戒』がレイキの基本であることを話されます。『五戒』の教えと調和が取れていれば、心は平静でいられるからです。

ジム： 西洋諸国の人たちにとっては、『五戒』の内容を理解するのはかなり難しいようです。いくつかの異なる翻訳があるようで、よく理解されていません。

ジェニファー： 土居先生はネガティブなエネルギーについてもいろいろお話されました。たとえば、心配したり、怒ったり、他人に対するネガティブな思いを持っていると、感情を体の中に溜め込み、レイキと共鳴しにくくなります。ネガティブな感情はレイキのエネルギーよりも低い周波数だからです。『五戒』の教えを通して、ネガティブな感情ではなくレイキと繋がることを、日々心に留めておくことは、とても大切なことです。また、「レイキ」という言葉は一般的な言葉ということも知りました。『霊気療法とその効果』(川上又次著)という本は、臼井先生がレイキと出会う3年前に書かれているそうです。ですので、私たちは、一般的な「霊気」でなく『臼井式レイキ』を実践することをはっきりと意識することが必要です。

**土居先生は、すべてのセミナーにおいて、
『五戒』の重要性とその教えをどのように常日頃心に留めるか、
そしてこの『五戒』がレイキの基本であることを話されます。**

ジム： 土居先生は英語を話されないので、ご友人の稲本百天氏を通訳として介されていますね。稲本氏についてお話をください。

ジェニファー： 稲本氏は仏教の僧侶でレイキ・マスターでもあります。土居先生のレイキも学ばれました。ご自身も『光明レイキ會』の創設者です。このレイキは、精神面の広がり強調しています。

ジム： セミナーでは他にどのようなことが話されましたか？

ジェニファー： レイキのシンボルに関して、どのように、どこから始まったのか、そして(臼井霊気)学会のシンボルと西洋で使われているシンボルの違いについて詳細に説明されました。土居先生は、シンボルを

神聖なものというよりも、レイキのエネルギーと繋がるための道具とみなしています。つまりドアを開ける鍵のようなものです。



土居裕先生と稲本百天氏。2007年9月オーストラリア・ツアーにて。
セミナーの運営は現代レイキ・ネットワーク・オーストラリア。

ジム： マスター向けの特別セミナーもありましたか？

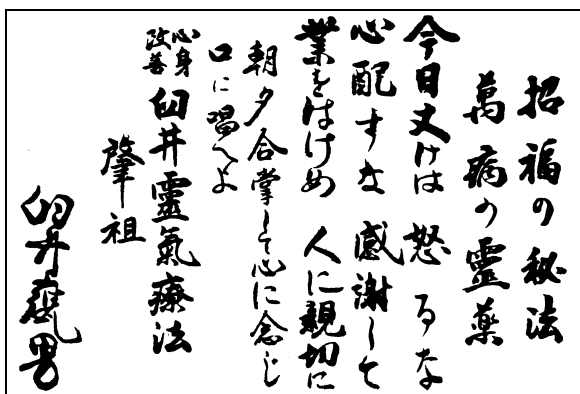
ジェニファー： 最終日のセミナーは、レベル4(マスター・レベル)に関する内容で、様々な系統のマスターが参加していました。セミナーを終え、レイキに関する理解が深まる一方、実践をすればするほど、実はとてもシンプルになるということに気づきました。これから、日々レイキ・エネルギーに自分の意識をフォーカスしてゆきたいと思います。土居先生が指摘されるように、宇宙の真髄は愛です。そして私たちが大宇宙と繋がりが続けることができれば、愛そのものになれるのです。ヒーリングは、この原点に戻り、大宇宙との繋がりを保つことです。西洋社会では、「行なう」、「達成する」、「知る」ことが当たり前です。そんな私たちにとって、「ただ存在する」ことは大きなチャレンジです。でもこれは、自分自身に、家族に、社会に、そして究極的にはこの惑星に贈ることができる最高のギフトだと信じています。

ジェニファー・ドウリングさんは、レイキ・オーストラリアのレイキのマスター/ティーチャー会員です。
ビクトリア州モーニングトン半島のショーハム在住。

現代レイキに関しての詳細は、現代レイキ・ネットワーク・オーストラリアまでどうぞ。
www.gendaireiki.org.au

注釈

*ワンジャ・トウアン、イルマ・ギュスターブセン、ジョアン・スティーブソン = 西洋レイキのマスター達
**五戒



日本語訳:Chihiro NEGISHI (現代レイキマスター)
監修:Yuki TAMURA (現代レイキマスター)